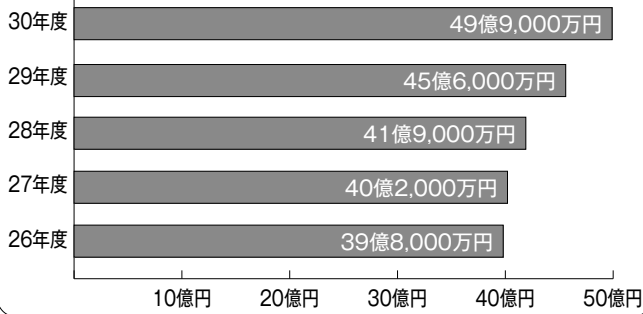


一般会計5か年の当初予算額の推移



予算審査特別委員会報告書(抜粋)

審査の内容

歳入については一括、歳出については各款ごとに審査しました。

予算規模は、49億9,000万円、前年度対比4億3,000万円の増額となり、過去最高の予算額となっています。

歳入は、国庫補助金やふるさと納税等が増加していますが、依然厳しい状況にあります。

歳出は、町営住宅建設事業や各種の地方創生推進事業を取り入れた定住・人口増加策の積極的な予算編成となっています。

次の項目について強く申し入れて、賛成することとしました。

- (1) 旧松田土木事務所の改修に伴い、多額の予算が計上されています。その事業内容や運営方針が不明確であり、説明責任を果たすことが難しいと思われるため、執行に当たっては、慎重に対応されたい。
- (2) 地方創生交付金等を多用した事業を導入したことから、町債が急激に増加しました。松田小学校建替事業等での町債の発行は避けられませんが、将来に向けた返済計画をしっかりと作成されたい。
- (3) 改修された町民文化センター大ホールを活用し、町民の文化行政向上と交流人口の増加に積極的に取り組まされたい。

じて完成してから運営母体を探すのではなく、これまで出された町民の要望も含めた要求水準を定め、民間事業者に打診して、運営する事業者を確保して進める。

答 (教育課)

周辺の幼稚園の実態を確認し、見直す方向で検討する。

質 平成30年度で寄中学校が廃校になるが、今の生徒への対応はどのようになっているのか。

答 (教育課)

正規職員と臨時職員で対応している。行き届かない教科については、教科の専門性の確保を第一に考え、町費で免許を持つた方を充てる体制を予定している。

質 新松田駅周辺地域まちづくり基本構想策定委託料を計上しているが、

具体的にどう進めていくのか。

答 (まちづくり課)

平成28年度・29年度・30年度で行っている事業で、最終年度の年にあたる。30年度中に駅周辺6へく

収支・財政

質 納税や水道料金等の支払い、コンビニで支払う仕組みはできないのか。

答 (税務課・環境上下水道課)

平成30年度はできないが、31年度からは、コン

タールの地域の構想を完成させて、権利者・町民・議会の皆様に提示しご意見をいただき、支持を得ることができれば基本計画として、実施に向けた考えをまとめていく。



新松田駅周辺地域のまちづくり構想を策定中

ビ二納付ができるよう事務を進めている。

質 繰越金と町税収入について、予算と決算の差額を少なくできないか。

答 (政策推進課・税務課)

特別交付税の金額や景気動向・税の申告の状況など未確定部分があり、決算額との差異は生じる可能性がある。今後、予算編成は厳しく行う。

質 財源確保に向けた遊休町有地の活用についての進捗状況はどうなっているのか。

答 (定住少子化担当室)

寄附一番の寄付を受け

た土地の活用については、募集要項を作成中であり、早急に活用方針を示したい。

質 平成30年度の実質公債費比率を6・1%と推計しているが、投資的事業の拡大や将来人口の減少が続くと、この比率が上昇する危険があるのではないか。

答 (政策推進課)

現状では、実質公債費比率1%の上昇は、元利償還金の額が約2500万円増えたことに相当する。不確定要素が多く、財政健全化のために、定期的な検証をしていく。